

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

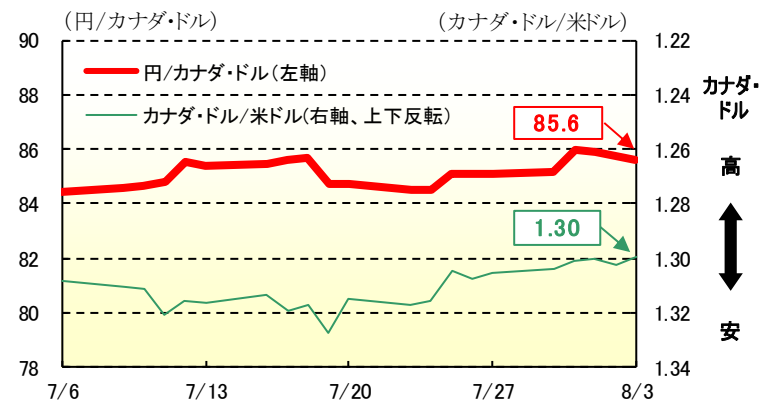
【2018年7月28日～2018年8月3日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円、カナダ5年国債利回りは上昇しました。

カナダ・ドル円は、発表された5月のGDP(国内総生産)が市場予想を上回った事でカナダ中央銀行の年内利上げの確率が高まったことや、米高官がNAFTA(北米自由貿易協定)再交渉の早期終結の可能性に言及したこと等を背景に上昇しました。債券市場では、FOMC(米国連邦公開市場委員会)の声明文で米国の景気の強さが確認され今年あと2回の利上げの確率が高まった事に加えて、日本国債の金利上昇も影響し、カナダの金利は上昇しました。

### 【カナダ・ドル 為替推移】 (2018年7月6日～2018年8月3日)



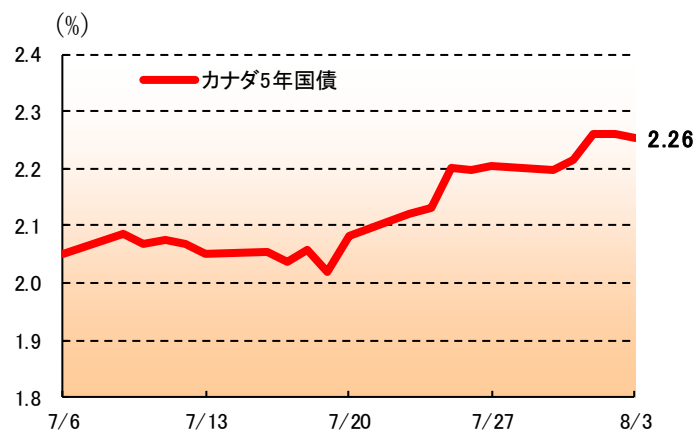
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

今週は、経済指標では雇用統計と住宅着工件数などが発表される予定です。

通商問題には引き続き注目が集まります。NAFTA再交渉については、年内合意の機運が高まったことはカナダ・ドルへの追い風となりました。一方で、対米の重油輸出の競争相手であるサウジアラビアとは人権問題を巡って対立し、サウジアラビアは今週初、カナダとの全ての貿易・投資を凍結するとの声明を発表しました。カナダの貿易額に占めるサウジアラビアのシェアは高くないものの、注意が必要と考えます。

### 【カナダ 金利推移】 (2018年7月6日～2018年8月3日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>